

久喜市長 梅田修一様

2019 年 12 月 26 日

日本共産党久喜市議団

日本共産党久喜市委員会

洪水から命を守り「犠牲者ゼロ」の施策を求める要望書

2019 年 10 月 12 日全国に大きな災害をもたらした台風 19 号では、久喜市でも 1 時間に 30 ミリ以上の激しい雨が半日以上続き、10 月の雨量 1 カ月分の二、三倍に相当する量の雨が降りました。利根川を管理する利根川上流事務所の測定でも、想定の 5 倍を超えるスピードでの急上昇があり、最大水位高 9.61m を記録、久喜市は深夜 2 時に「避難勧告」を発令、久喜市においても初めてのことでした。災害に備え深夜にもかかわらず、緊急の避難体制につかれ対応された職員の皆さんには感謝を申し上げさせていただきたいと思います。

深夜に避難体制をとったことから、避難に伴う様々な問題点も指摘されています。

私ども日本共産党久喜市議団で、市民の皆様に「緊急市民アンケート」をお願いしたところ、率直な意見が数多く寄せられました。

久喜市のハザードマップによると、栗橋地区は家屋が水没し崩壊するエリアにあります。万が一決壊していたら、命や財産を失う甚大な被害が出たことは間違いありません。避難された方々は、久喜市の情報発信をもとに避難されており、市が発する情報が市民の命に直結しています。市政に関わる私たちは市民の命を預かっていると言えるのではないのでしょうか。

今回、避難発令が深夜に及んだのは、正確な情報を市町村に伝達できなかった国土交通省にも大きな責任があると言えます。その点から国への要望も提案させていただきました。

近年の激しい気候の変化に伴い、同様の事態が今後も予想されます。幸いにも、大事に至らないですんだ今回の取り組みの全てを検証し尽くすことが必要ではないのでしょうか。

私たちも、市民の皆さんの声をまとめ、犠牲者を一人も出さないための対策として、何が求められているのか、私たちなりに提案させていただきました。

また、アンケートの結果についても提出させていただきます。

久喜市も、実際に避難市民の対応に当たられた方からの意見集約を行い、今後の対応に生かしていくことを表明されています。

是非とも、市民の声も加えていただき、利根川決壊による洪水が襲って来ても、犠牲者は一人もださない施策確立に向け役立てていただきたいと要望致します。

私ども議員団も、市民の声を受けとめ、久喜市とも連携して取組んでいきたいと思っています。

ハザードマップは、久喜市のほとんどの地域が3m～20mの深さで水没すること、特に、栗橋地域においては、氾濫流により家屋が倒壊するエリアであり、垂直避難をする場所は限定されます。また、実際に洪水が発生すると、市の広範な地域が3日～2週間、一部地域では4週間水が引かず、避難が長期化することが考えられます。

このハザードマップが示す「事実」を前提にすると、「広域避難」を市の防災計画の中心に据えること、そして、早めの避難発令、市民への周知徹底も含め、久喜市挙げての日常的な準備が必要であると考えます。以上の視点で、今般の台風に伴う私たちの判断や行動の見直しを、以下の事項に沿って進めていただくようお願い致します。

- ◆ **市の防災計画(洪水対策)の中心に「広域避難」を位置づけることについて**
 - ・ 行政区域を越えて、浸水しない場所での避難所の確保など
 - ・ 市民が広域避難の必要性を認知できるよう周知することなど
- ◆ **多数の市民が、安全な地域へ避難できる、時間的余裕を持った避難情報の発信について**
 - ・ 避難にかかる時間の予測を前提にした、避難準備、避難勧告、避難指示発令のタイミングや発令の基準、避難所開設情報など
- ◆ **避難情報を漏れなく伝えることについて**
 - ・ エリアアラートの活用、防災無線子機の配布、広報の在り方の見直しなど
 - ・ 雨量や水位などの必要な情報を逐次伝える方法など
- ◆ **生活再開まで避難できる場所の確保について**
 - ・ 移動困難者のリストアップ(登録制ではなく、条件者全員)、必要な搬送手段の準備など
 - ・ 要支援者用の福祉避難所の設置。ペット対策、外国人対策など
 - ・ 避難に伴う受け入れ態勢、エレベータの設置、備品等の準備、避難者への情報の提供など
- ◆ **緊急避難場所の確保について**
 - ・ 広域避難できない人の、指定避難所の確保及び民間施設も含め協力依頼など
- ◆ **防災学習や防災訓練の実施について**
 - ・ 電柱にテープを巻くなど、ハザードマップをイメージ豊かに捉えてもらうことなど
 - ・ 行政、自主防災組織(自治会)、個人、それぞれの役割や動き、それぞれの連携の明確化とそれに伴う講習と訓練など
 - ・ 各自の広域避難の計画を具体的に持ってもらうことなど

大規模災害、利根川の洪水対策は国との連携が必須です。国に対して要望すること。

- ◆ **堤防の強化や河川の整備について**
 - ・ 河川内の立木の伐採や床ざらい、強化堤防の建設加速と堤防嵩上げなどの国への働きかけ
 - ・ 利根川上流域の降水量を把握し、水位の正確な情報、広域避難を見込み、市町村に伝達できるシステムの構築を求める
 - ・ 利根川に合流する渡良瀬川とのバックウォーター現象に対応する堤防強化を求める
 - ・ 大型台風が接近する前に、利根川上流ダムの事前放流を実施し、水位上昇中に緊急放流はやめる

ハザードマップが伝える洪水発生時の様子、また、今般の避難に伴う生の声、避難しなかった・できなかった市民の味わった不安や恐怖などを考慮され、次回に備え、万全の準備をいただきたくお願いいたします。